

地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 1 高精度放射線治療を担う人材の育成「特別講義 1」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 1「高精度放射線治療を担う人材の育成」において、「特別講義 1」を開催しました。

Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

**単回受講可
参加費無料**

**次世代のがんプロフェッショナル
養成プラン**

放射線治療プログラムインテンシブコース

9月18日(木) 18:30 - 19:50 (Zoom開催)

領域1《高精度放射線治療を担う人材の育成》
特別講義1『重粒子線治療の臨床と研究の最新トピック』

【講師】 量子化学技術研究開発機構 グループリーダー 稲庭拓先生	大阪国際がん治療財団 医学物理士 濱谷紀彰先生	【司会】 順天堂大学 助教 高津淳先生
--	--------------------------------------	-------------------------------------

がんプロ養成プランHP  お問い合わせ用フォーム 

対象者 医師・診療放射線技師・医学物理士・大学院生など

連絡・問い合わせ先
順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230 (放射線科医局)

担当者 鹿間 直人、島村 彩子、遠藤 純子

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します

後援 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

特別講義 1

9月18日(木) 18:30~19:50 (Zoom 開催)

テーマ「重粒子線治療の臨床と研究の最新トピック」

講師：稲庭 拓先生 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 グループリーダー)

濱谷 紀彰先生 (大阪国際がん治療財団 医学物理士)

座長：高津 淳先生 (順天堂大学)

要旨：重粒子線治療は、X線や陽子線に比べて生物学的効果が高く、がんに集中的に照射できる最先端の放射線治療です。副作用を抑えながら、短期間で高い治療効果が期待でき、特に手術が難しいがんに対して有効な治療法として注目されています。本講義では、重粒子線治療の物理学的・生物学的な基礎知識を講演いただいた後、重粒子線治療の普及に向けた装置の小型化、より治療成績を向上させるためのマルチイオンを用いた治療について紹介いただきました。参加者は61名でした。

